

みずほCustomer Desk Report 2016/07/06号(As of 2016/07/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	102.39		
TKY 9:00AM	102.51	1.1145	114.23	0.9711	1.3276	0.7528		
SYD-NY High	102.58	1.1187	114.33	0.9774	1.3284	0.7545		
SYD-NY Low	101.45	1.1063	112.40	0.9687	1.3000	0.7455		
NY 5:00 PM	101.74	1.1075	112.69	0.9768	1.3021	0.7463		
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.09/14.59		△25RR	1.700	Yen Call Over			
NY DOW	17,840.62	▲108.75	債券市場		日本2年債	-0.3250	▲0.1bp	
NASDAQ	4,822.90	▲39.67			日本10年債	-0.2470	▲0.7bp	
S&P	2,088.55	▲14.40			米国2年債	0.5497	▲4.0bp	
日経平均	15,669.33	▲106.47			米国5年債	0.9384	▲5.6bp	
TOPIX	1,256.64	▲5.33			米国10年債	1.3750	▲6.9bp	
シカゴ日経先物	15,515	▲115.00			独10年債	-0.1850	▲4.4bp	
ロンドンFT	6,545.37	23.11			英10年債	0.7710	▲6.2bp	
DAX	9,532.61	▲176.48			豪10年債	1.9420	▲6.5bp	
ハンセン指数	20,750.72	▲308.48			為替市況	USD/CNH	6.6918	0.0158
上海総合	3,006.39	17.79				ドルインデックス	96.18	0.53
USDJPY 3M Vol	12.81	0.72%			商品市況	CRB指数	189.660	▲4.60
USDJPY 6M Vol	12.27	0.66%				NY金	1,358.700	19.70
EURJPY 3M Vol	13.78	0.71%				WTI	46.600	▲2.39
EURJPY 6M Vol	13.49	0.60%				Dubai Spot	44.43	▲1.61

東京  
 日一時間に高値102.58をつけたドル円は、102.51レベルで東京時間オープン。安寄りした日経平均株価が100円超下落する中、102円台前半まで連れ安となった。さらに、発表された豪5月貿易収支は予想以上に赤字額が膨らんでいたことや、同5月小売売上高は予想を下回る伸びとなったことで豪ドルが売られ、豪ドル円も下落するドル円も軟調推移となり、102円ちょうど近辺まで下落。午後に入ってRBAが発表した政策金利は、予想通りの据え置きであったことから相場への影響は限定的となる。しかし、日経平均株価が7営業日ぶりに反落して大引けし、米10年債金利が低下する中、ドル円は軟調推移が継続。東京時間安値となる101.87まで下落した後、102.97レベルで海外に渡った。(東京15:30)

ロンドン  
 ロンドン時間のドル円は小幅下落、101.97レベルでオープン後、リスクオフ地合から米債金利が低下、ドル円も売り優勢となり、101.65まで下落し、結局101.79レベルでNYに渡った。ユーロドルは小幅上昇、1.1126レベルでオープン後、一時1.1187まで急速にユーロ買いが進行するも、その後はもみ合い推移となり1.1144レベルでNYに渡った。ポンドドルは英国国民投票後の安値を更新、1.3223レベルでオープン後、英不動産ファンドが償還請求に対応できず運用を停止したことやカーニー英中銀総裁が「EU離脱決定に伴うリスクが顕在化してきた」との認識を示すなど、先行きへの不透明感が継続。加えて英6月マークイット・サービスPMIが予想を下回ったことでポンドは主要通貨に対し下値を切り下げる展開。ロンドン時間は軟調な推移が継続し、1.3115レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179)

ニューヨーク  
 ドル円は101.79レベルでNYオープン。ロンドン時間に報じられた英不動産ファンドが運用取引停止とのニュースもあり、朝方はリスク回避の動きから円買い戻しが強まり101.57まで下落する。その後も米5月製造業受注指数、同5月耐久財受注がいずれも予想を下回ったことから、先週の安値101.41に迫る101.45まで下落する。その後やや買い戻される局面もあったものの、米10年債金利が過去最低を更新する中、ドル円の上値は重く、再び101.47まで下落。終盤に掛けては、ドルが再び買い戻される展開に、101.76まで戻し、結局101.74レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、1.1144レベルでNYオープン。朝方は1.1150付近での狭いレンジでの推移が続いていたものの、軟調な株式市場を横目に、1.1066まで下落する。午後に入り1.1094まで戻す局面もあったものの、終盤に掛けて再びドル買いが優勢となったことから1.1063まで反落し、1.1075レベルでクロスした。(NY00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当：山本・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
7月5日	10:30	豪	貿易収支/小売売上高(前月比)	5月 -2.218M/0.2%	-1.700M/0.3%
	10:45	中	財新・中国サービス業PMI/コンポジットPMI	6月 52.7/50.3	-
	11:00	日	日経・サービス業PMI/コンポジットPMI	6月 49.4/49.0	-
	13:30	豪	RBAキャッシュレイト	-	1.75%
	16:55	独	マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	6月 53.7/54.4	53.2/54.1
	17:00	欧	マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	6月 52.8/53.1	52.4/52.8
	17:30	米	マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI	6月 52.3/52.4	52.8/52.0
	18:00	欧	小売売上高(前月比/前年比)	5月 0.4%/1.6%	0.4%/1.7%
	19:00	英	カーニーBOE総裁 講演	-	-
	23:00	米	製造業受注指数	5月 -1.0%	-0.8%
	23:00	米	耐久財受注(確報、前月比)	5月 -2.3%	-2.2%
7月6日	03:30	米	ダドリーNY連銀総裁 講演	-	-

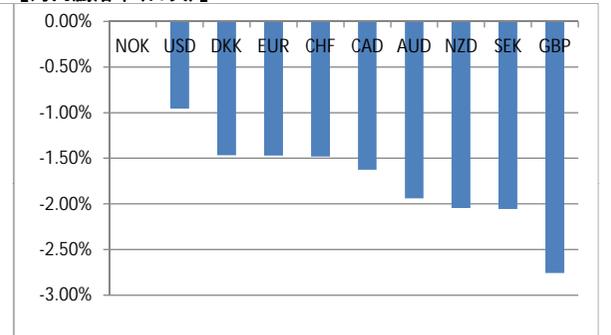
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前日	
7月6日	15:00	独	製造業受注(前月比/前年比)	5月 1.0%/0.9%	-2.0%/-0.5%
	16:00	欧	ドラギECB総裁 講演	-	-
	21:30	米	貿易収支	5月 -\$40.0B	-\$37.4B
	22:45	米	マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	6月 51.3/-	51.3/51.2
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	6月 53.3	52.9
7月7日	03:00	米	FOMC議事要旨(6/14-15分)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.50-102.00	1.1100-1.1250	111.50-113.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は、軟調推移した。欧州時間序盤より欧州株や日経平均先物が下落したことを受けて売りが先行。イタリア銀行株の急落や英不動産ファンドに解約請求が殺到し取引停止との報道等に投資家のリスク選好度が低下、ポンド/円をはじめとしたクロス円が下落、ドル円も東京クロズの101.97水準から101.65まで下落。売り一巡後は101円台後半まで下げ渋る場面も見られたものの、原油先物相場が大幅反落、米債も過去最低利回りを更新、ダウ平均が5営業日ぶりに反落する流れにくわえて、米経済指標も冴えない結果となったことで、ドル円は一時、101.45まで下落した。本日のドル/円相場は、上値の重い展開を予想する。英国国民投票の結果に端を発した世界経済の不透明感の強まりが改めて意識されるなか、債券、金、低金利通貨等の安全資産への資金シフトのトレンドは継続するものと予想される。今週末に発表される米雇用統計に向けた思惑買いも入りづらいと考えられ、ドル/円は戻り売り圧力の強い展開となろう。